— vol.18 —
2020年9月30日発行

グループホームさざなみ松屋町

多門（たもん） 美津子（みつこ）

さざなみ

長年にわたり保育士として活躍してきた多門美津子。有限会社さざなみには2011年に入社し、現在は週1回、松屋町事業所で介護にあたる。保育士という経験を存分に活かして活躍する多門は、趣味で続けてきた「南京玉すだれ」でも入居者様を喜ばせる。今では松屋町事業所にとって、なくてはならない貴重な人材だ。

――保育士の経験を活かし、介護の世界へ

子どもが好きで、学生時代から子ども会などの活動に積極的に参加していたという多門は、保育士として公立の保育所に勤務し、長年にわたり子どもの成長を見守ってきた。退職直前の2年間は、肢体不自由児の施設で子どもたちの食事や日常生活の介助にも携わり、経験値を更に上げた。

介護職は初の経験だが、保育で養ったスキルを活かせる部分は多い。歌を歌ったり、折り紙を折ったりするレクリエーション活動においては、保育士としての経験が存分に発揮された。残念ながら、現在は入居者様の年齢も上がり、レクリエーション活動を行うことが難しくなってしまったが、自分自身も楽しめていたこうした活動が、今となっては良い思い出になっている。

――入居者様との交流が何よりも楽しい

入居者様にとっても、多門は親しみやすく安心して接することのできる存在のようだ。入浴介助のときなどは、一対一で接する機会に昔の体験談などを話してくれる人も多いという。興味深い昔の話を聞けるのは楽しいし、何よりも入居者様の人柄に触れられることを嬉しく感じている。

プライベートなことを話してくれる理由について、「お風呂のときなどは、ゆったりとした気分になるのではないでしょうか」と語る多門。相手が心を開いてくれるのは、日頃からの配慮があるからだろう。

「高齢になり介護が必要にはなったとはいえ、入居者様はこれまで立派な人生を歩まれてきて、自尊心もあります。言葉遣いはもちろん、まわりに他の人がいるときは、その方だけに聞こえるように声を落として会話をしています」

こうした心配りが、入居者様を自然とリラックスさせているのかもしれない。

――まわりのスタッフに支えられて

好奇心旺盛な性格、そして元来からの強い向上心で、貪欲に新しい知識を吸収していく多門。テキパキと動くスタッフ仲間からも、日々良い刺激を受けている。そのため皆と同じように仕事をこなしたいという気持ちも強いのだが、ベッドへの移乗など、力を使う介助業務となると一人で行うことは難しい。

「力があれば一人でこなせる仕事だと思うと、申し訳なさも感じますが、いつも快く手を貸してくれる皆さんには感謝しかありません」。

お互いを思いやり、協力し合える雰囲気の良さがあるからこそ、楽しみながら仕事を続けることができている。

――いつかはお琴を披露したい

多趣味でバイタリティ溢れる多門は、社交ダンス、ヨガ、南京玉すだれ、お琴など、幅広い趣味の持ち主だ。さまざまなサークル活動や勉強会にも積極的に参加し、特技や能力を惜しみなく共有している。ボランティアで教えているヨガや、保育所の子どもや卒園児を集めてのダンス教室もその一部だ。

▲南京玉すだれでは衣装もばっちりで演出

保育士を辞めてから習い始めたという南京玉すだれは、さざなみのクリスマス会で披露。玉すだれを変化させてミッキーマウスやゾウなどの形をつくり、入居者様を喜ばせた。

「私の顔を見る度に、『南京玉すだれ！』と声をかけてくれるんですよ。ですから今後も更に腕を磨きたいと思っています。今はまだ人前で披露できる腕前ではないけれど、今後はお琴もデイサービスなどで披露していきたいので、上達に向けて猛特訓中です」。

少しでも楽しく生活をしてもらいたい。そんな思いを胸に、自分の特技を活かして入居者様を喜ばせることに情熱を注ぐ。強い志を持った多門は、これからもより一層、輝きを増していくだろう。

▲お琴もスキルアップ中

▲フロアにはお手製の装飾で季節感を演出

TAKOYAKI PARTY

たこ焼きパーティーしました！

先日グループホームさざなみ大池橋でたこやきパーティーが
おこなわれましたので、その様子をご紹介します！

入居者様と職員さん、一緒になって調理をし、
皆で美味しくいただきました。

今回は参加した職員さんからの
コメントを紹介します。

グループホームさざなみ大池橋　高島（たかしま） 小汐（さきよ）さん

Ｔ様はここに入居される以前、粉もんのお店を営んでおられました。Ｔ様が入居されてから初めてのたこ焼きパーティー、「たこ焼きやったら任しとき～」と両手で串を持ち、くるくるとたこ焼きを焼いていかれる様子はお見事でした！今回は一台でおこないましたが、もっと台数があればいろんな方にも焼いていただけたかなと思いました。外国人の職員さんに、たこ焼きを焼いて食べるのは初めての方もいて、とても楽しんでおられました。またみんなでやりたいです。

Ｔ様のお話を聞くと、やはり認知症になっても昔の特技や記憶は色褪せないものなんだなと思います。
皆様それぞれのできることを今後も続けていただけると良いですね。

介護職員初任者研修が開講されました！

2020年9月4日（金）より、今年度の介護職員初任者研修が開講されました。
この研修は、介護の資格のファーストステップとなる資格を取ることができます。
感染症予防対策も徹底しながらにはなりますが、今回は大阪市内事業所から
5名の職員の方が受講してくださっています。
この研修で学んだことを各事業所のケアに活かしていただけることを期待しております！
3ヶ月間、皆さん一緒に頑張りましょう！

入居者様との思い出募集！

前号でもたくさんのご回答をいただいた、「入居者様との思い出」
今回も、入居者様とのほっこりした思い出や楽しい思い出、
日常の何気ないけどクスッと笑える会話などをたくさん募集します！
ぜひ皆様の思い出をこの社内報で共有しませんか？

（なお今回ご回答頂いた投稿は20号以降で掲載させて頂きますので、お楽しみに！）